

トム・クルーズ



彼の夢が野望に変わった時
巨大な黒い力が動き始めた…

全米50週間連続ベストセラーの完全映画化！

シドニー・ポラック監督作品

ザ・ファーム

法律事務所

T·H·E
FIRM

TM & COPYRIGHT © 1993 BY PARAMOUNT PICTURES. ALL RIGHTS RESERVED.

UIP配給/パラマウント映画



ザ・ファーム

法律事務所

★人気、実力 No.1 スター、トム・クルーズ最新作!

『トップガン』(86)『遙かなる大地へ』(92)、そして、『ア・フュー・グッドメン』(92)と若き正統派スターの道を全速力で駆け上がるトム・クルーズ。その勢いで彼が再びオスカーに挑むことを決意したのは、『ザ・ファーム/法律事務所』。それがスターの宿命であるかのように、現状にとどまることを嫌い、絶えず演技への夢を追う彼は、自らのハングリー精神を投影したかのような若きエリート弁護士に扮し、初のミステリーに新境地を求めた。クルーズの果てしなき俳優としての夢を導くかのように、彼と激しく演技を競うのは、演技派ジーン・ハックマン。『フレンチ・コネクション』(71)でアカデミー主演賞を受賞、そして、いま再び『許されざる者』(92)の助演でオスカーを獲得した彼は、挑むかのように向かってくる若きスター、トム・クルーズの演技を真っ向から受けてたつた。

勢いと経験に裏打ちされた新旧スターの白熱した演技は、正に最高のエンターテインメント・ミステリーの話作にふさわしい圧倒的な迫力、鮮烈な熱演と、全米マスコミで早くも絶賛されている。

ミッチェル・Y・マクティア。ハーバード大学をトップの成績で学業を終えた彼は、全米で最高ランクの法律事務所3社から、内定の通知を受け取っていた。だが、彼が選んだのは、その後に連絡してきたテネシー州メンフィスにあるベンティニ、ランバート&ロック法律事務所であった。41人という少数精鋭の弁護士が勤務するこの事務所は、全米の優秀な法学部の学生2,000人をふるいにかけて、ミッチェル一人にアタックしてきていたのだ。この法律事務所は、他のどの法律事務所よりも良い労働条件を提示。最初の1年の基本給8万ドルで、半年後には5千ドルの昇給。さらに、9千ドルのボーナスを支給。その他に家を購入するための低金利融資、数カ所の保養施設、多額の引退年金プランが用意される上に、BMWの新车がプレゼントされ、最後には勤務の時に着る新しいスーツを買うために、5千ドルの小切手がミッチェルに手渡された。

鉱山爆発事件で父を失い、一番上の兄をベトナム戦争で失ったことから半狂乱となったミッチェルの母。彼々に世話をしてもらえないことを哀れにおもった親類に、次兄のレイとともに引き取られたミッチェル。貧困生

活の中で辛い思いを味わった彼の心に芽生えたのは、果てしなき成功への渴望。それが彼の心の源であり、今の彼を築いていた。

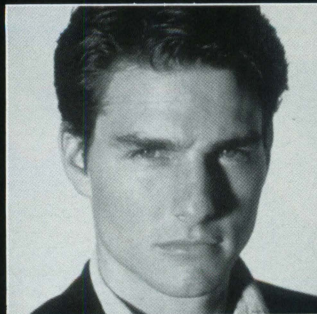
持ち前のハングリー精神で、週80時間の労働をこなしていくミッチェル。年間50万ドルの収入を手にし、50才の頃にはほとんどの人が勇退できるほどリッチな生活。そんな生活設定を描きながら、業務の80パーセントが税金関係で離職率ゼロのこの事務所で、ミッチェルは一番望んでいた成功を手にしたかのように思った。

だが彼は後に、悲劇的な死を遂げた5人の弁護士がいることを知る。しかも、その死をめぐる状況は極めて不審なことばかりであった。正義心が強く、好奇心旺盛なミッチェルは、ふとしたきっかけで死の謎を探ろうと、この事務所を陰で操る巨大な悪の組織が存在することを知る。しかし、それを知った時、ミッチェルは彼らと対決する運命の中に、すでに身を投げかけていた。命をかけた絶望の戦いの中に……。

原作は、アメリカのエンターテインメント派の次代の担い手といわれる人気作家ジョン・グリシャムの2作目の小説『法律事務所』で、出版されると同時にベストセラー・リストに載り、連続50週に渡ってベストセラー入りを果たした。息もつかせぬ見事なストーリー展開の第一級のサスペンスという評価はまたたくまに全米に広がり、正式に出版社が決まる前に、いち早くパラマウント社が破格の金額で映画化権を手に入れたという超話題作。

超一流の原作を得て、監督にはアメリカを代表する演出家であるシドニー・ポラックが抜擢された。『愛と哀しみの果て』(85)でアカデミー監督賞を受賞した他、数々の作品で見事な演出力を発揮している。

トム・クルーズ、ジーン・ハックマンの間で、美しさと瑞々しい演技を披露するのは、ジーン・トリプルホーン。『氷の微笑』(91)で連続事件の鍵を握る人物として登場。マイケル・ダグラス扮するニックと恋愛関係にある警察の心理学者ベス・ガーナーを演じたトリプルホーンは、イメージを一新するような熱演をみせている。他に、エド・ハリス、ウィルフォード・ブリムリーなど渋い役者が脇を固めている。



(スタッフ)
監督/シドニー・ポラック
「追憶」「愛と哀しみの果て」
原作/ジョン・グリシャム
(全米50週連続ベストセラー小説)
原作邦訳:新潮社刊「法律事務所」
パラマウント映画/UIP 配給

(キャスト)
トム・クルーズ
「トップガン」「遙かなる大地へ」
ジーン・ハックマン
「フレンチ・コネクション」「許されざる者」
ジーン・トリプルホーン
「氷の微笑」
エド・ハリス
「ライトスタッフ」「アビス」

7月24日(土) 夏休みロードショー! 特別鑑賞券(券¥1400/券¥1200/券¥2600)発売中

有楽町マリオン9F

丸の内ピカデリー1

03(3201)2881

紀伊國屋ビル3F

新宿ピカデリー1

03(3352)1771

伊勢佐木町3丁目・オデオンビルとなり

横浜ピカデリー

045(261)2886

JR川崎駅東口・チネチッタ

川崎チネグランテ

044(211)6125

ららぽーと2ビル3F・駐車場完備

艦ららぽーとセントラル

0474(31)0088